ふるさと観光大使

上松

美香

ふるさと観光大使

安曇野のオオイヌノフグリのような音色 が奏でられるミニハープ。

指の病気をきっかけにリハビリで始めたこの楽 器と向き合っているとその音色から私の音楽の 原点は安曇野なんだと改めて気付かされました。 子どものころから安曇野で育ち、地元の人たち に音楽を教えてもらったから今の私があります。 これからも音楽を通じて安曇野の皆さんに恩返 しをしていきたいと思います。



どこまでも自然な子どもたちの笑顔は

素直で無邪気な子どもたちの笑顔に元気をも

らいます。その笑顔は世界共通のたからもの。

自然があふれる気持ちのいいここ安曇野は、

時代が変わっても大切なものは残しつつ、新

しさも融合させている豊かさがあります。20

年経っても子どもたちの笑顔が変わらないよ

うに、安曇野らしさを表現し続けているのは、

この地を愛し大事にしてきた皆さんの力だと

世界共通のたからもの。



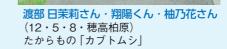
伊東 航太さん (16・豊科高家) たからもの「田淵行男・著 『アシナガバチ』(サイン入り)」

降幡 好華さん (31・明科中川手) たからもの「あづみのの自然と こどもたち」

梅田 有希さん (37・三郷小倉) たからもの「今まで過ごしてきた時間」

篠原 寛行さん (61・堀金烏川) たからもの「サザンオールスターズの デビューアルバム」







西村 淳子さん (42・三郷明盛) たからもの「食の大切さに気付かせて もらった炊飯土鍋」





尾澤 大輝さん・凛音ちゃん (11・1・明科七貴) たからもの「家族との思い出」

宮坂健さん(11・堀金烏川) たからもの「中信地区小学生陸上競技 大会 1000m 第 5 位の賞状」

丸山清治さん(79・穂高) たからもの「小説『安曇野』のルーツ、 白金地区」

日詰 恵里子さん (61・豊科) たからもの「北アルプスと山小屋と 登山道」

家族や友達。

そこから広がる輪を大切に暮らす。

家族や友達とのつながり。そこから広がる輪が 私のたからものです。その中でも家族の輪が一 番大切。そこから知り合いが増えて輪がもっと 広がっていきます。20周年は安曇野の皆さんに とっては一つの区切り。今後も何十年も安曇野 のいいところを見つけ続けて欲しいと思ってい ます。私はここに住み始めてまだ数年。一年一年、 安曇野での「輪」を大切に思いやりを持ちながら、 学びつつ暮らしを楽しんでいきたいです。





安曇野の風景・文化を大切に つなぎ残したい。

創業者のふるさと安曇野と碌山美術館は当社とし ても私個人としても後世に残していきたいたから ものです。特に5月に訪れた際に見た碌山美術館 のツタと新緑の共演は忘れられません。安曇野に は「のどか」という言葉だけでは表せられない魅 力があります。本年からコロナ禍で中断していた 安曇野での社員研修も再開し、皆さんとの交流の 密度を高めます。これからも食と美術と文化をつ なぎ、安曇野の魅力を発信していきます。

感じています。